

# 福知山公立大学将来構想検討業務 委託仕様書

## 1 委託業務名

福知山公立大学将来構想検討業務

## 2 趣旨

福知山公立大学は、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」を基本理念とし、日本で唯一の地域経営学部を有するとともに、地域協働型教育研究を積極的に展開することを特色とする大学である。しかし、今後想定される人口減少、産業構造の変化等といった社会環境の動向を踏まえ、本学の次期中期計画や10年後を見通し、本学に求められる大学将来像を検討する必要がある。

こうしたことから、今年度、地域経営学部のあり方等を検証するとともに、京都工芸繊維大学福知山キャンパスとの連携体制の構築を見据えた福知山公立大学将来構想の策定に向けて検討する。

この目的を達成するため、専門的知識や実績等を有する事業者により、福知山公立大学将来構想検討に向けて必要となる業務の支援を求めるものである。

## 3 委託期間

契約締結日から平成30年2月28日（水）まで

## 4 業務内容

業務内容は、表1のとおり。ただし、公募型プロポーザルの実施において決定した受託者の提案により調整する場合がある。

なお、事業者は、福知山市が別途発注する福知山市「知の拠点」整備構想検討業務の内容を熟知し、同業務との連携を図りつつ、福知山公立大学将来構想検討業務を実施しなければならない。

## 5 業務計画

受託者は、契約後速やかに業務計画書を作成し、本学に提出するものとする。

業務計画書には、業務内容、業務の順序及び方法、業務工程表、業務組織表その他必要事項を記載するものとする。

## 6 成果品

- |          |  |
|----------|--|
| (1) 提出物  | ①福知山公立大学将来構想検討業務報告書<br>(本業務の履行のため作成した資料及び本学が指示した書類)<br>②各種調査・分析データ<br>③打ち合わせ協議記録 |
| (2) 提出部数 | 紙媒体：5部 電子データ：1部  |
| (3) 体裁   | A4判両面印刷（資料、図面等で必要な場合はA3判でも可）   |

- (4) 提出期限      第1次報告    平成29年8月31日(木)  
                         第2次報告    平成29年10月20日(金)  
                         第3次報告    平成29年12月20日(水)  
                         最終報告     平成30年2月28日(水)

## 7 委託料支払

委託料は、業務終了後に本学が受託者から上記成果品の提出を受け、検査終了後に請求書を受理してから30日以内に支払う。

## 8 体制

- (1) 受託者は、当該業務を円滑かつ効率的に推進するため、全体を統括する責任者として総括責任者を配置し、作業の進行管理を行うものとする。
- (2) 総括責任者は、提案者の組織（実際の業務提供を行う支店等）に所属し、かつ、総括責任者としての支援実績を有する者とする。

## 9 その他

- (1) 受託者は、本仕様書（本仕様書を基本とし、受託者選定後、双方協議の上、業務の詳細について定める仕様書）に定められた業務を行い、成果品の検査に合格したときに業務は完了するものとする。業務完了後において誤りを発見した時は、直ちにこれを訂正するものとする。
- (2) 受託者は、本学担当者と緊密な連絡を取り、十分な打合せを行い、本業務を遂行するものとし、本学担当者が指示した事項については、その指示に従わなくてはならない。
- (3) 本業務を実施するに当たっては、本学又は受託者が必要と判断した場合に適宜協議を行う。この際、受託者は協議記録を作成し、本学に提出するものとする。
- (4) 本業務に当たり使用する図表やデータ、画像等の著作権・使用权等の権利については、受託者において、使用許可を得ること。なお、これらを怠ったことにより、著作権等の権利を侵害したときは、受託者は、その一切の責任を負うこと。
- (5) 本業務について、本学が提供する資料は、毀損または滅失しないように丁寧に扱い、本業務の委託期間終了までに返却しなければならない。
- (6) 本業務に係る素案、調査報告書、各種説明資料、成果品については、適宜カラー印刷を用い、必要に応じて図表化するなど、「分かりやすさ」「きめ細やかさ」「進行管理への配慮」を重視して編集を行うこと。
- (7) 本業務の実施に当たって生じた著作権等の全ての権利は原則として本学に帰属するものとする。
- (8) 本業務の実施に伴い個人情報を取り扱う場合は、公立大学法人福知山公立大学個人情報保護規程に掲げる事項を遵守しなければならない。
- (9) その他、本仕様書に定めのない事項について疑義が生じた場合は、速やかに本学担当者と協議の上決定するものとする。

表 1

項目	内容
<p>(1) 福知山公立大学 将来構想検討 業務</p>	<p>●福知山公立大学将来構想の検討</p> <p>国の政策動向、他大学の動向、地域や社会に求められる人材・能力、福知山公立大学の基本理念・沿革、学生確保の見通しや学生卒業後の進路の見通し等を踏まえ、本学に求められる将来構想を検討するための根拠資料（エビデンス）を提出すること。</p> <p>なお、将来構想は、上記条件に基づき複数パターン検討すること。</p> <p>●福知山公立大学キャンパス整備計画案の策定</p> <p>①既存施設及び周辺施設の現状調査</p> <p>②教育環境の改修等整備計画案の策定及び整備費用試算</p> <p>③福知山公立大学及び京都工芸繊維大学福知山キャンパス周辺一帯のキャンパス整備計画案の図面作成（必要となる複数パターン）</p> <p>なお、上記②の実施にあたっては、大学設置基準及び他大学の事例を参考にしながら、整備費用を算定すること。</p> <p>●公立大学法人福知山公立大学の第1期中期目標期間（平成28年度～平成33年度）及び第2期中期目標期間（平成34年度～平成39年度）の財政試算</p> <p>公立大学法人福知山公立大学の整備費用及び経営収支の算定。</p> <p>なお、算定にあたっての諸条件は大学設置基準及び他大学の事例を参考に行うこと。</p> <p>●その他必要な事項</p> <p>①定期的な打ち合わせ等の実施</p> <p>②成果品の納入</p> <p>③将来構想検討に関する指導・助言 他</p>
<p>(2) 福知山公立大学 への進学ニーズ 調査</p>	<p>●福知山公立大学への進学ニーズ調査・分析</p> <p>【調査対象】</p> <p>福知山公立大学に入学志願実績のある高校等のほか、福知山公立大学との協議のうえで選定すること。</p> <p>【実施時期】</p> <p>契約締結後、速やかに調査を実施すること。</p> <p>【調査報告書のとりまとめ】</p>

	調査の集計結果の分析を行ったうえで調査報告書を作成し、提出すること。
(3) 福知山公立大学 卒業生の採用 ニーズ調査	<p>●福知山公立大学卒業生の採用ニーズ調査・分析</p> <p>【調査対象】</p> <p>福知山公立大学将来構想の検討状況を踏まえた育成人材像の就職先となりうる福知山市をはじめとする北近畿地域及び京阪神の事業所、施設等を対象に、福知山公立大学との協議のうえで行う。</p> <p>【実施時期】</p> <p>契約締結後、福知山公立大学の指示のもと、速やかに調査を実施すること。</p> <p>【調査報告書のとりまとめ】</p> <p>調査の集計結果の分析を行ったうえで調査報告書を作成し、提出すること。</p>